



## 未来へつなぐ 平和への思い

被爆者の高齢化が進み、自らの被爆体験を語る人が少なくなってきました。そうした中、「平和のために何かをしたい」と決意し、被爆体験伝承者として活躍している人を紹介します。  
☎区政調整課(☎831-4925、☎877-2299)

区内在住の増本夏海さん(23歳)は、令和6年に、最年少の20歳(当時)で被爆体験伝承者として活動を始めました。自らの被爆体験を語る被爆体験証言者である岸田弘子さんの被爆体験を伝えています。伝承者として活躍する増本さんに、平和への思いなどを聞きました。



### ずっと心にあった「平和のために何かしたい」

広島で生まれ育ち、幼い頃から平和教育を受けてきました。

被爆者の話を聞く機会も多く、「お話を聞かせてもらえてとてもありがたい」と感じると同時に、「こうして聞かせてもらったことに対して、私はどうやって恩返しができるのだろう」とずっと考えていました。

高校生になり、自分の将来に悩んだ時、両親からの「あなたは何がしたいの?」という一言に、一番最初に浮かんできたのは「平和のために何かしたい」という気持ちでした。

そこで改めて今の自分にできることはないかと調べ、被爆体験伝承者のことを知り、大学入学後すぐに応募しました。

伝承者になるまでの養成研修期間は、他の研修生の知識の豊富さを感じる機会も多く、自分の知識不足や経験不足を痛感し、落ち込むこともありましたが、同時に、新たな知識や考え方や、さまざまな経験を得ることができた、とても貴重な期間でした。伝承者になっても、どうしたら興味を持って聞いていただけるか、どのように話したら伝わるのかを、試行錯誤しています。

### 「平和の種」をまく人として

私は、伝承講話を聞いた人に、「あなたも伝承者になってほしい」「すぐに平和活動をしてほしい」と言いたいわけではありません。講話を聞いた人の心に「平和の種」をまくことができれば、そして平和を望む人が1人でも増えてくれたらいいなと思います。



平和を望む人が増えれば、その中には、平和への思いを周りの人に伝える人や、行動を起こそうとする人が現れるかもしれません。そうした連鎖によって、平和への思いが、1人でも多くの人へ、そして後世へつながってほしいです。

現在、小学校教諭を目指して勉強しています。伝承者の自分だからこそできる、新しい、私なりの平和教育で、「平和の種」をまいていきたいです。

これからも、自分だからこそできることは何かを考えながら、1人でも多くの人に、受け継いだ平和への思いを伝えていきます。

### 被爆体験伝承者とは

市では、被爆者の高齢化が進む中、被爆体験証言者の被爆体験や平和への思いを受け継ぎ、それを伝える被爆体験伝承者を養成しています。

養成研修修了後は、広島平和文化センターから委嘱を受け、平和記念資料館などで講話をします(令和8年4月1日時点で264人が活動中)。

研修の内容など詳しくは市ホームページで。  
☎平和推進課(☎504-2900、☎504-2986)



### 被爆体験伝承講話を聞くには

平和記念資料館東館地下1階の特別展示室では、毎日、伝承者(家族伝承者含む)による講話を行っています。同館を訪れた際には、伝承講話を聞いてみませんか。

また、依頼による派遣講話も行っています。詳しくは、同館ホームページで。

☎広島平和文化センター平和文化企画課(☎541-5544、☎247-2464)



### 区内の平和関連行事

※一部を掲載しています。

行事名	日時	内容	場所・問い合わせ先	休館日
あさみなみ 平和を考える会 「祇園 平和を考えるパネル展」	7/3(金)~7/27(月) 8:30~22:00	旧祇園町の被爆状況と被爆の痕跡、原爆慰霊碑、平和文化活動などを紹介	祇園公民館 (☎874-5181、☎874-5182)	
平和の折り -折り鶴・折りバラを折ってみよう- ①折り鶴・折りバラの制作 ②折りバラの折り方講習会	①7/26(日)22:00まで ②7/6、13(月)13:00~17:00(出入り自由)	①平和を願い、折り鶴や折りバラを折る(ロビーに折り紙と回収箱を設置。折った折り鶴や折りバラの持ち込みも可) ②折りバラの折り方の講習会 ※①②とも、皆さんが折った折り鶴・折りバラは平和記念公園へ捧げます	戸山公民館 (☎、☎839-3320)	(火)、7月20日(祝)